

平成 30 年度
南部地域の新たな公共交通基本計画基礎調査業務

報 告 書

平成 31 年 3 月

島尻地域振興開発推進協議会

目次

1. はじめに

1-1 調査目的	1
1-2 調査フロー	1
1-3 調査準備	2

2. 既存関連計画・ビジョン等の資料収集整理

2-1 基礎調査票の回収・整理結果	8
2-2 公共交通等関連計画図（まとめ）	12
2-3 まちづくり等関連計画図（まとめ）	13
2-4 その他既往調査・参考資料（まとめ）	14

3. 専門委員会の開催支援

3-1 第1回専門委員会	22
3-2 第2回専門委員会	23
3-3 第3回専門委員会	25

4. 基礎調査結果のとりまとめ

4-1 連携して取り組む目的	29
4-2 望ましい検討体制	29
4-3 連携して検討すべき南部公共交通軸と連携・検討主体	30
4-4 段階的整備に向けた検討フロー	31
4-5 平成31年度以降の検討スケジュール（イメージ）	31

1. はじめに

1-1 調査目的

沖縄本島南部地域には、豊かな自然環境と貴重な歴史・文化財が多く分布しており、沖縄戦跡国定公園をはじめとする平和学習の場、近年では文化や癒しをテーマとした観光スポットとしても人気を集め、大型クルーズ船の寄港など年々観光客数も増加傾向にあり、沖縄観光振興の一翼を担っている。一方、本地域は主要幹線道路沿線を中心に急速な都市化も進んでおり、増加する観光交通に加えて那覇都市圏との通勤・物流など自動車交通の集中による渋滞が社会問題となっている。

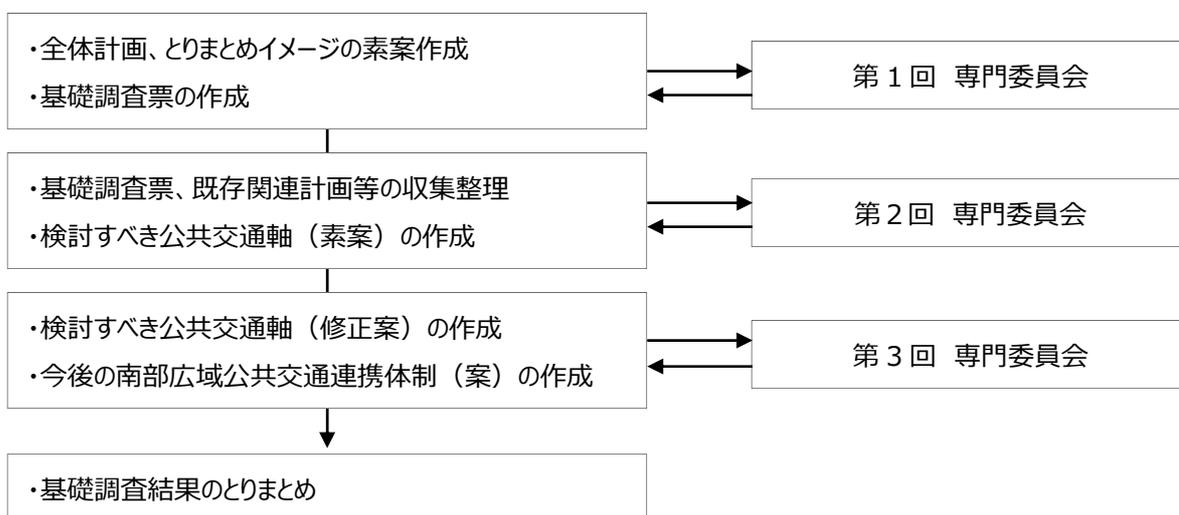
これらを背景に、近年では地域住民の利便性や観光客の満足度向上、円滑な物流ネットワークなどの実現に向け、交通渋滞に影響されない「持続可能な公共交通システムの構築」を求める声が高まりつつある事を踏まえ、平成28年12月のシンポジウムでは、「沖縄本島南部地域における公共交通システムとまちづくり」をテーマに、行政をはじめ公共交通計画の専門家、各種産業界、利用者等の代表者との意見交換により議論を深め、合わせてそれを発信することでの実現に向けた機運を高めていく事を目指した。

一方で、県や国においても様々な渋滞対策が進められるとともに、沖縄モノレールの延長や基幹バスの導入検討、鉄軌道計画の検討など様々な軌道系公共交通の検討が進められている。しかしながら、これらの公共交通の検討は那覇以北の計画となっており、鉄軌道の計画検討において、本来の上位計画である「沖縄21世紀ビジョン」では、南部を縦貫すると明記され、また近年中部以上の交通状況の悪化がみられるものの、計画検討委員会では、起終点を那覇～名護間とした案が示されている。

さらに、南部の各自治体ではそれぞれの地域における移動交通に関する課題解決や、交通政策基本法の制定などを背景に、交通基本計画や公共交通網形成計画の策定、コミュニティバスやデマンド交通等の本格・試験運行など様々な取組みがなされている。しかし、いずれも当該自治体内に限られた計画または構想であり、近隣自治体との連携による広域計画ではないことから、主に広域移動に関しては足並みが揃っていない状況にある。

そこで、本業務では南部地域の様々な交通問題を改善するとともに、南部がめざすまちづくりの実現に向け、交通からまちづくりを支えていくことを目的に、本地域が一体となって持続可能な新たな公共交通システムの構築とまちづくりの実現に向けて、「南部地域の新たな公共交通基本計画」を策定するにあたり、基礎的な調査を実施することを目的とする。

1-2 調査フロー



1-3 調査準備

本調査を実施するにあたり、第1回専門委員会にてたたき台とするため、計画策定までの全体計画、および取りまとめイメージの素案を作成した。また、既存関連計画・ビジョン等の資料収集整理に向けて、各自治体向けの基礎調査票の設計・作成を行った。

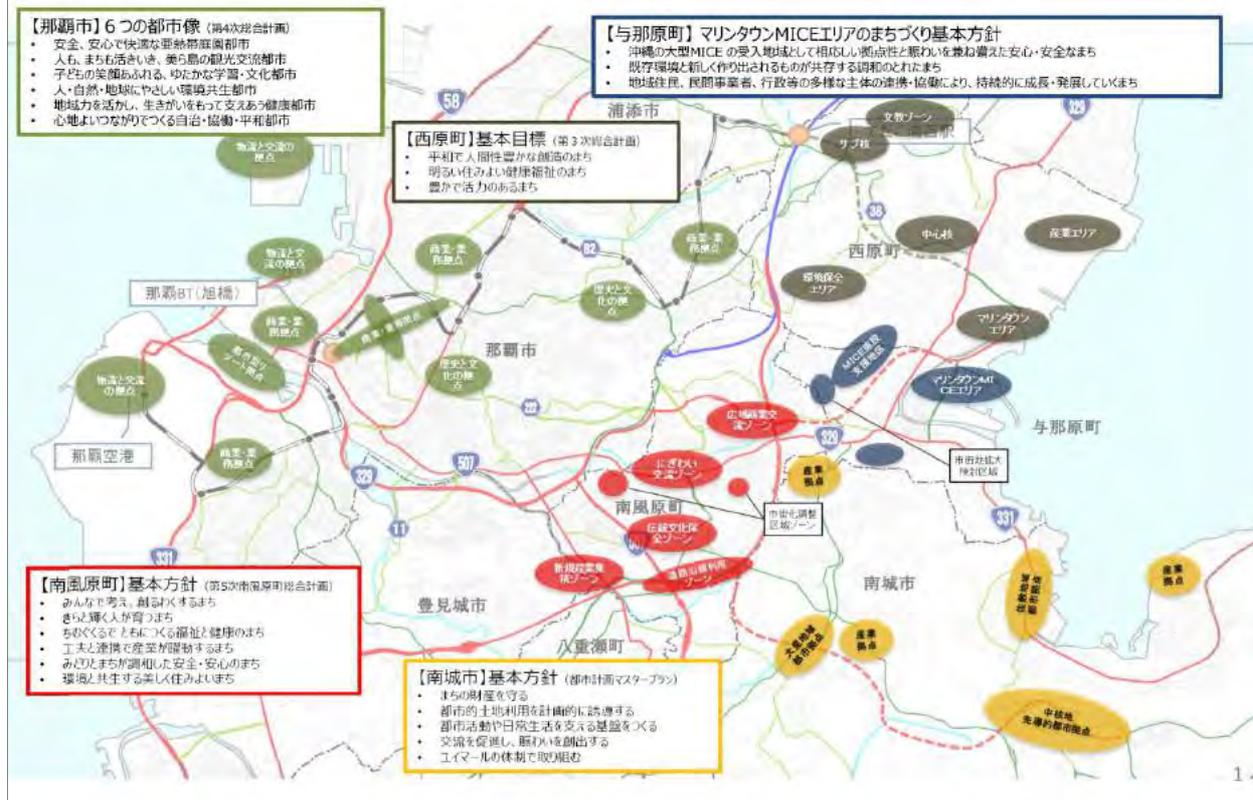
①計画策定までの全体計画（素案）

<p>1. 計画検討期間 : 平成30年～平成31年度（2か年）</p> <p>2. 最終的に公共交通基本計画へ掲載する内容（案）</p> <p>①南部地域における広域公共交通網、各地域内公共交通網図</p> <p>②沿線まちづくり構想図</p> <p>③交通モード検討結果（概算費用、需要予測、事業評価）</p> <p>④運行体制、導入シナリオ等（短・中・長期毎）</p> <p>3. 平成30年度 取組内容</p> <p>①各自治体における関連計画・ビジョンの収集整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通関連計画 ・まちづくり計画・都市再開発関連事業 ・道路・街路関連事業 ・その他、交流人口や公共交通需要に影響があると考えられる関連事業 <p>②専門委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回：趣旨説明、調査依頼（平成30年10月下旬） ・2回：調査結果の整理、方向性の確認（平成31年1月中旬） ・3回：とりまとめ結果の整理（平成31年2月下旬） <p>③基礎調査結果のとりまとめ</p> <p>4. 平成31年度以降 取組内容（案）</p> <p>①検討体制（素案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会の開催（協議会の下部組織として想定軸毎に専門部会を設置） 	<p>役 割：全体計画協議・とりまとめ</p> <p>事務局：島尻地域振興開発推進協議会事務局</p> <p>資金源：市町村負担金</p>
<pre> graph TD A[公共交通基本計画策定協議会 3回/年程度] --- B[専門部会] A --- C[専門部会] </pre>	<p>役 割：個別想定軸における具体的計画の調査・検討</p> <p>事務局：構成する市町村のうち代表する市町村</p> <p>資金源：構成する市町村による負担金</p>

②とりまとめイメージ（素案）

後述する各自治体の基礎調査票等を基にそれぞれのまちづくり等関連計画や公共交通関連計画、関連道路事業、その他大型商業施設等を1つの図面に整理することで、隣接する自治体で重複する箇所などについて整理を行い、南部地域として検討すべき公共交通軸としてとりまとめを行うイメージ素案を作成した。（次頁参照）

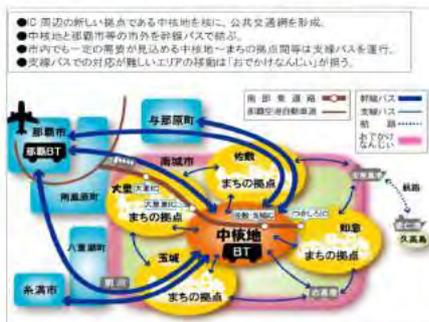
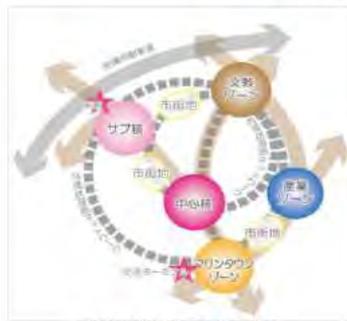
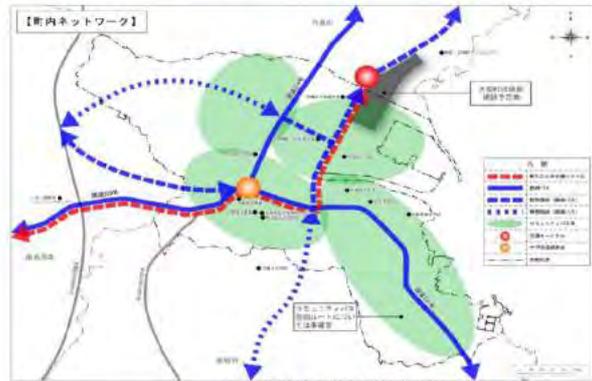
南部地域におけるまちづくり等関連計画図（とりまとめイメージ）



南部地域における公共交通関連計画図 広域（とりまとめイメージ）

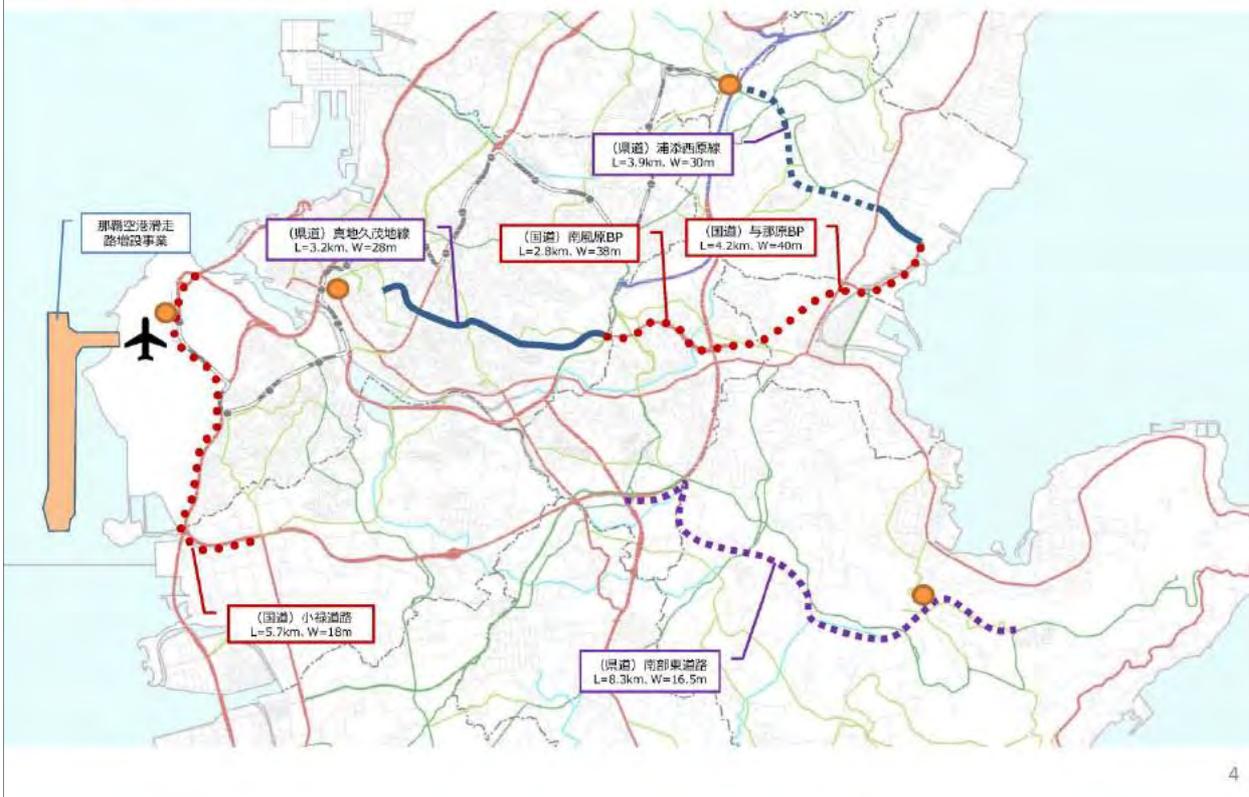


南部地域における公共交通関連計画図 域内（とりまとめイメージ）



- C周辺の新しい拠点である中核地を核に、公共交通網を形成。
- 中核地と市街地等の市外を幹線バスで結ぶ。
- 市内でも一定の需要が見込める中核地～まちの拠点間等は支線バスを運行。
- 支線バスでの対応が難しいエリアの移動は「おでかけなんしんじ」が担う。

関連道路事業・その他大型商業施設等（とりまとめイメージ）



広域公共交通の想定軸と期待する役割（とりまとめイメージ）

各自治体が設定した公共交通軸を集約しつつ、課題の抽出や新たな検討を行い、広域公共交通における想定軸、期待する役割などを設定。

（注）本資料はあくまでもとりまとめイメージ資料であり、調査・検討等に基づくものではありません



③基礎調査票

上記のとりまとめにおいて活用する事を目的に、各自治体の担当者へ該当する事業を記載頂く基礎調査票について検討し作成した。

南部地域における公共交通関連基礎調査票

調査目的
本調査は、南部地域が一体となって持続可能な新たな公共交通システムの構築とまちづくりを実現するため、各自治体における現在の計画等を把握・整理するとともに、広域的な視点からの検討を加えるための基礎資料の作成を行う事を目的としております。
上記目的を踏まえ、下記関連計画における貴自治体の取組状況についてご回答頂き、併せて取組みに関する資料（計画書、報告書、図面、写真等）がございましたらご提供ください。

平成30年11月12日（月）までにご記入頂き、下記の調査委託先へご連絡下さい。日程調整のうえ調査票、関連資料の受領に伺います。

【調査委託先】（一社）沖縄しまて協会 技術環境研究所（担当：上間）

TEL：879-2091 FAX：874-5301 Mail：uema@shimatate.or.jp

※上記調査委託先のMailアドレス宛にご連絡頂ければ、折返し本調査票のデータ（エクセル形式）を送付致します。

市町村名称	
担当部署名	
記入者氏名 / 役職名	
電話番号（担当窓口連絡先）	
FAX番号	
メールアドレス	

南部地域における公共交通関連基礎調査票（つづき）

【公共交通関連計画】

	名称	概要	現在の進捗状況 構想・計画・事業中・完了
1	公共交通網形成計画 〇〇バス運行計画など	平成〇〇年〇月に〇〇地区における〇〇〇計画を策定	進捗状況：計画 添付資料：〇〇〇計画
2			進捗状況： 添付資料：
3			進捗状況： 添付資料：
4			進捗状況： 添付資料：
5			進捗状況： 添付資料：

※適宜、記入例を削除頂き行の高さや行数を変更頂いて構いません。

【まちづくり計画・都市再開発関連事業】

	名称	概要	現在の進捗状況 構想・計画・事業中・完了
1	〇〇街区整備事業 〇〇地区計画など	平成〇〇年〇月に〇〇地区における〇〇〇計画を策定	進捗状況：事業中 添付資料：〇〇計画
2			進捗状況： 添付資料：
3			進捗状況： 添付資料：
4			進捗状況： 添付資料：
5			進捗状況： 添付資料：

※適宜、記入例を削除頂き行の高さや行数を変更頂いて構いません。

※南部地域の公共交通網検討にあたり、動線把握や需要規模の目安として活用します。

【道路・街路関連事業】

	名称	概要	現在の進捗状況 構想・計画・事業中・完了
1	〇〇線整備	〇〇～〇〇線（L=0.0km、W=00m） 完成年次：〇〇年頃	進捗状況：構想 添付資料：〇〇〇〇
2			進捗状況： 添付資料：
3			進捗状況： 添付資料：
4			進捗状況： 添付資料：
5			進捗状況： 添付資料：

※適宜、記入例を削除頂き行の高さや行数を変更頂いて構いません。

※南部地域の公共交通網検討にあたり基礎資料とします。

南部地域における公共交通関連基礎調査票（つづき）

【その他、交流人口や公共交通需要に影響があると考えられる関連事業】 ※把握している民間事業を含む

	名称	概要	現在の進捗状況 構想・計画・事業中・完了
1	〇〇会館 イオン〇〇店 など		進捗状況：計画 添付資料：〇〇〇〇
2			進捗状況： 添付資料：
3			進捗状況： 添付資料：
4			進捗状況： 添付資料：
5			進捗状況： 添付資料：

※適宜、記入例を削除頂き行の高さや行数を変更頂いて構いません。
 ※南部地域の公共交通網検討にあたり基礎資料とします。

2. 既存関連計画・ビジョン等の資料収集整理

前述の「1 - 3 調査準備」において作成した基礎調査票について、第1回専門委員会において各自治体担当者へ記入を依頼し、収集された調査票の内容に基づき関連資料の収集および整理を行った。

2 - 1 基礎調査票の回収・整理結果

【公共交通関連計画】

市町村名	名称	概要	現在の進捗状況 構想・計画・事業中・完了
糸満市	糸満市地域公共交通網形成計画	平成31年度に策定予定	進捗状況：構想 添付資料：無し
豊見城市	新しい公共交通システム可能性調査	将来的に導入できる公共交通システムの可能性調査	進捗状況：事業中 添付資料：H P 掲載
南城市	南城市地域公共交通網形成計画	平成29年3月策定	進捗状況：H29.3策定 添付資料：H P 掲載
	南城市地域公共交通網再編実施計画	平成31年3月策定予定	進捗状況：事業中 添付資料：なし
与那原町	与那原町総合交通基本計画	平成29年3月策定 与那原町の交通に関する基本計画	進捗状況：H29.3策定 添付資料：H P 掲載
	与那原町地域総合交通戦略	平成30年3月策定 与那原町総合交通基本計画を実現する為の施策をまとめた計画	進捗状況：H30.3策定 添付資料：H P 掲載
南風原町	該当なし		
八重瀬町	該当なし		
沖縄県	沖縄県総合交通体系基本計画		進捗状況：H24.6改定 添付資料：H P 掲載
那覇市	那覇市交通基本計画		進捗状況：H26.4改定 添付資料：H P 掲載
	那覇市総合交通戦略		進捗状況：H22.3策定 添付資料：H P 掲載
	那覇市公共交通総合連携計画		進捗状況：H23.5策定 添付資料：H P 掲載
	L R T 導入可能性調査	那覇市交通基本計画におけるモデル性の高い基幹的公共交通の取り組み	進捗状況：H30.3 添付資料：H P 掲載
西原町	該当なし		

※赤字は当該自治体に対する基礎調査票の記入依頼は行わず、本調査において独自に収集整理したもの

【まちづくり計画・都市再開発関連事業】

市町村名	名称	概要	現在の進捗状況 構想・計画・事業中・完了
糸満市	糸満市都市マスタープラン	都市計画に関する基本的な方針	進捗状況：H30.9改訂 添付資料：H P 掲載
	糸満市土地利用（真栄里地区）基本構想	新たな産業の受け皿となる用地確保の可能性や、当該用地への生産性・雇用吸収力の優れた企業誘致の可能性について調査、検討を進め、その具体像を明らかにすることを目的として策定	進捗状況：H30.5策定 添付資料：H P 掲載
	糸満南地区土地区画整理事業		進捗状況：施行中 添付資料：別紙の通り
豊見城市	都市計画マスタープラン	市の将来的な街づくりのマスタープラン	進捗状況：H29.3策定 添付資料：H P 掲載
南城市	南城市都市計画マスタープラン（改定版）		進捗状況：H27.10改定 添付資料：H P 掲載
	南城市都市計画マスタープラン《地域別構想編》	南城市先導的都市拠点創出ビジョン	進捗状況：H29.8策定 添付資料：H P 掲載
	南城市佐敷津波古地区地区計画		進捗状況：完了 添付資料：H P 掲載
与那原町	東浜地区地区計画	平成15年6月に東浜地区における地区計画を策定	進捗状況：H15.6策定 添付資料：H P 掲載
	与那原町都市計画マスタープラン	平成30年6月一部改訂	進捗状況：H25.9策定 添付資料：H P 掲載
南風原町	第五次南風原町総合計画	平成29年4月策定	進捗状況：H29.4策定 添付資料：H P 掲載
	南風原町都市マスタープラン	平成16年6月改定	進捗状況：H16.6改定 添付資料：
	津嘉山北地区区画整理事業 津嘉山北地区計画	施行期間：平成5年～平成35年 地区面積：71.4ha	進捗状況：事業中 添付資料：
	南風原南IC周辺地区整備事業		進捗状況：構想・計画 添付資料：
八重瀬町	八重瀬町都市計画マスタープラン		進捗状況：H23.3策定 添付資料：H P 掲載
	こちんだブラザ地区地区計画	平成23年9月にこちんだブラザ地区におけるこちんだブラザ地区地区計画を策定	進捗状況：H23.9策定 添付資料：
	伊覇地区地区計画	平成23年9月に伊覇地区における伊覇地区地区計画を策定	進捗状況：H23.9策定 添付資料：
	富盛地区集落地区計画	平成18年1月に富盛地区における富盛地区集落地区計画を策定	進捗状況：H18.1策定 添付資料：
	屋宜原地区地区計画	平成15年3月に屋宜原地区における屋宜原地区地区計画を策定	進捗状況：H15.3策定 添付資料：
沖縄県	那覇広域都市計画「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」		進捗状況：H29.6改定 添付資料：
那覇市	那覇市都市計画マスタープラン		進捗状況：H24.3改定 添付資料：H P 掲載
西原町	西原町都市計画マスタープラン		進捗状況：H24.3改定 添付資料：H P 掲載

※赤字は当該自治体に対する基礎調査票の記入依頼は行わず、本調査において独自に収集整理したものと

【道路・街路関連事業】

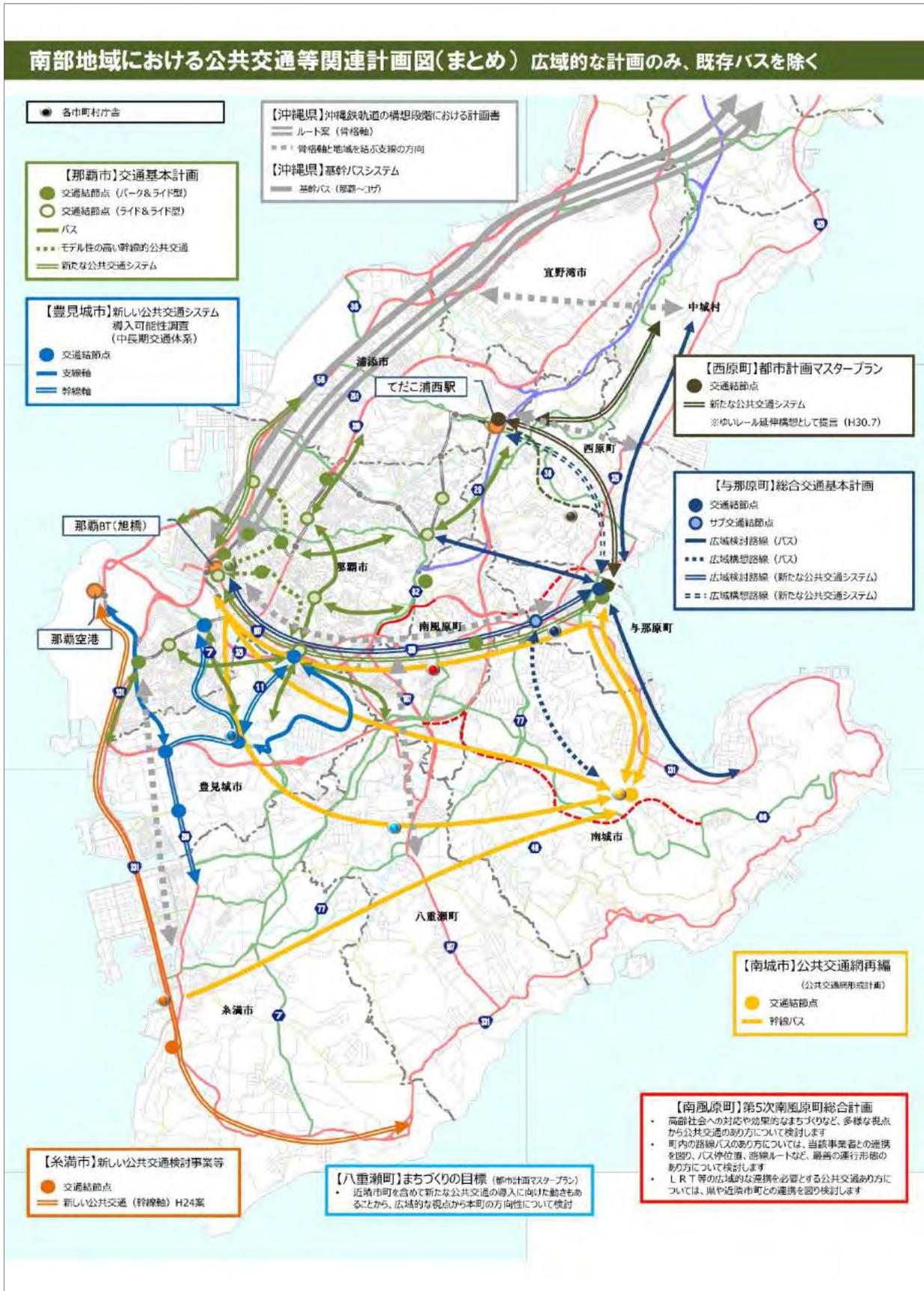
市町村名	名称	概要	現在の進捗状況 構想・計画・事業中・完了
糸満市	安田多原線整備	L = 4 1 0 m W = 9 m (2車線) 完成年次：平成33年度頃	進捗状況：整備中 添付資料：別紙参照
	糸満観光農園線整備	L = 4 8 6 m、W = 9 m(2車線) 完成年次：平成34年度頃	進捗状況：平成31年開始予定 添付資料：別紙参照
	溝原線整備	L = 1 1 2 m 完成年次：平成32年度頃	進捗状況：平成31年開始予定 添付資料：別紙参照
	真壁小波蔵線整備	L = 1, 5 0 0 m、W = 9. 0 m(2車線) 完成年次：平成32年度頃	進捗状況：整備中 添付資料：別紙参照
	真壁前田原線整備	L = 7 6 0 m、W = 8. 5 m(2車線) 完成年次：平成32年度頃	進捗状況：整備中 添付資料：別紙参照
	与那堀線	L = 3 8 6 m、W = 1 4 m(2車線) 完成年次：平成32年度頃	進捗状況：整備中 添付資料：別紙参照
	国道331号(県道256号豊見城糸満線)	L = 2,030m、W = 30m(?車線) 起点：阿波根 終点：兼城	進捗状況：未着手 添付資料：別紙参照
	国道331号(県道256号豊見城糸満線)	L = 2,060m、W = 20m(2車線) 起点：兼城 終点：真栄里	進捗状況：事業中 添付資料：別紙参照
	糸満与那原線(県道・市道)	L = 1,970m、W = 20m(2車線) 起点：糸満 終点：照屋	進捗状況：事業中 添付資料：別紙参照
	外かく線(県道・市道)	L = 3,840m、W = 20m(2車線) 起点：兼城 終点：真栄里	進捗状況：事業中 添付資料：別紙参照
	豊見城糸満バイパス(国道)	L = 4,400m、W = 40m(4車線) 起点：豊見城市瀬長 終点：糸満市真栄里	進捗状況：事業中 添付資料：別紙参照
	阿波根兼城線(市道)	L = 1,590m、W = 18m(2車線) 起点：兼城 終点：阿波根	進捗状況：事業中 添付資料：別紙参照
豊見城市	市道286号線道路改築事業	豊崎～国道331小祿BP	進捗状況：工事着手 添付資料：
	3・4・1号饒波川線	3・5・豊1号豊見城大橋線～豊見城市道30号線	進捗状況：工事着手
南城市	該当なし		
与那原町	上与那原前の井線道路整備事業	県道糸満与那原線～町道与那原嶺井線(L=854m、W=12.0m) 道路新設	進捗状況：事業中(H33頃完成) 添付資料：位置図
	与原19号線道路改良事業	国道与那原バイパス～町道幹線1号線(ゆめなり橋)(L=600m、W=3.0m、自転車歩行者道) 道路新設	進捗状況：事業中(H33頃完成) 添付資料：位置図
	上与那原19号線道路改良事業	県道糸満与那原線～国道329号(L=211m、W=4.0～5.0m) 道路改良	進捗状況：計画(H34頃完成) 添付資料：位置図
南風原町	津嘉山中央線整備事業	L=0.2km、W=12m	進捗状況：事業中(H33頃完成)
	津嘉山中央線(2工区)整備事業	L=0.2km、W=12m	進捗状況：事業中(H35頃完成)
	町道10号線整備事業	L=0.8km、W=9.5m	進捗状況：事業中(H34頃完成)
	町道5号線整備事業	L=0.7km、W=9.5m	進捗状況：事業中(H33頃完成)
	町道73号線整備事業	L=0.2km、W=6.5m	進捗状況：事業中(H32頃完成)
八重瀬町	町道学校線道路整備	町道学校線(L=0.34km、W=11.5m) 完成年次：H33年頃	進捗状況：事業中(H33頃完成) 添付資料：有り
	町道伊保田線道路整備	町道伊保田線(L=0.16km、W=7.0m) 完成年次：H34年頃	進捗状況：H32実施予定 添付資料：無し

【その他、交流人口や公共交通需要に影響があると考えられる関連事業】 ※把握している民間事業を含む

市町村名	名称	概要	現在の進捗状況 構想・計画・事業中・完了
糸満市	(仮称)糸満市文化・平和・観光振興センター	海洋文化や戦争・平和などのガイダンス施設、糸満市観光のビジターセンター、地域を感じ、新たな波及効果を想像する場所	進捗状況：実施設計 添付資料：H P 掲載
豊見城市	市庁舎の移転	平成32年1月より上田への移転予定	進捗状況：事業中 添付資料：
	瀬長島	約280万人の来島がある。 (H17ODはなし。H22ODもわずかなため、改めてOD設定が必要。) ※豊見城豊崎周辺のOD設定が小さすぎて、豊見城西海岸の交通量の推計と実績が乖離している。	進捗状況： 添付資料：
	豊崎	アウトレットモール、トミン、バーチャル水族館、ビーチ (過去に想定している開発交通は住宅となっているが、既に大型商業施設等も立地しており、開発交通の見直しが必要。)	進捗状況： 添付資料：
	与根地区	豊見城中央病院新設 与根ゴルフ場跡地 組合施行による区画整理事業	進捗状況： 添付資料：
	沖縄空手会館及び周辺施設	豊見城城址公園跡地での開発	進捗状況： 添付資料：
	那覇市具志	豊見城瀬長に隣接する地域において、那覇市で区画整理を実施。	進捗状況： 添付資料：
南城市	該当なし		
与那原町	大型MICE施設の建設(予定)	沖縄県の施設として平成27年度に与那原町と西原町にまたがる地域に建設が決定 ・敷地面積145,000㎡ ・延べ床面積122,000㎡ (大型MICE施設 72,000㎡・立体駐車場50,000㎡)	進捗状況：計画 添付資料：県H P 掲載
南風原町	イオン南風原店	H16.5開業 店舗面積：26,046㎡、駐車台数：1,850台	進捗状況：完了 添付資料：
八重瀬町	サンエー八重瀬シティ		進捗状況：完了 添付資料：
	タウンプラザかねひで東風平店	食品店	進捗状況：完了 添付資料：
	マックスバリュ八重瀬店	食品店	進捗状況：完了 添付資料：
	生涯学習・文化振興拠点施設		進捗状況： 添付資料：

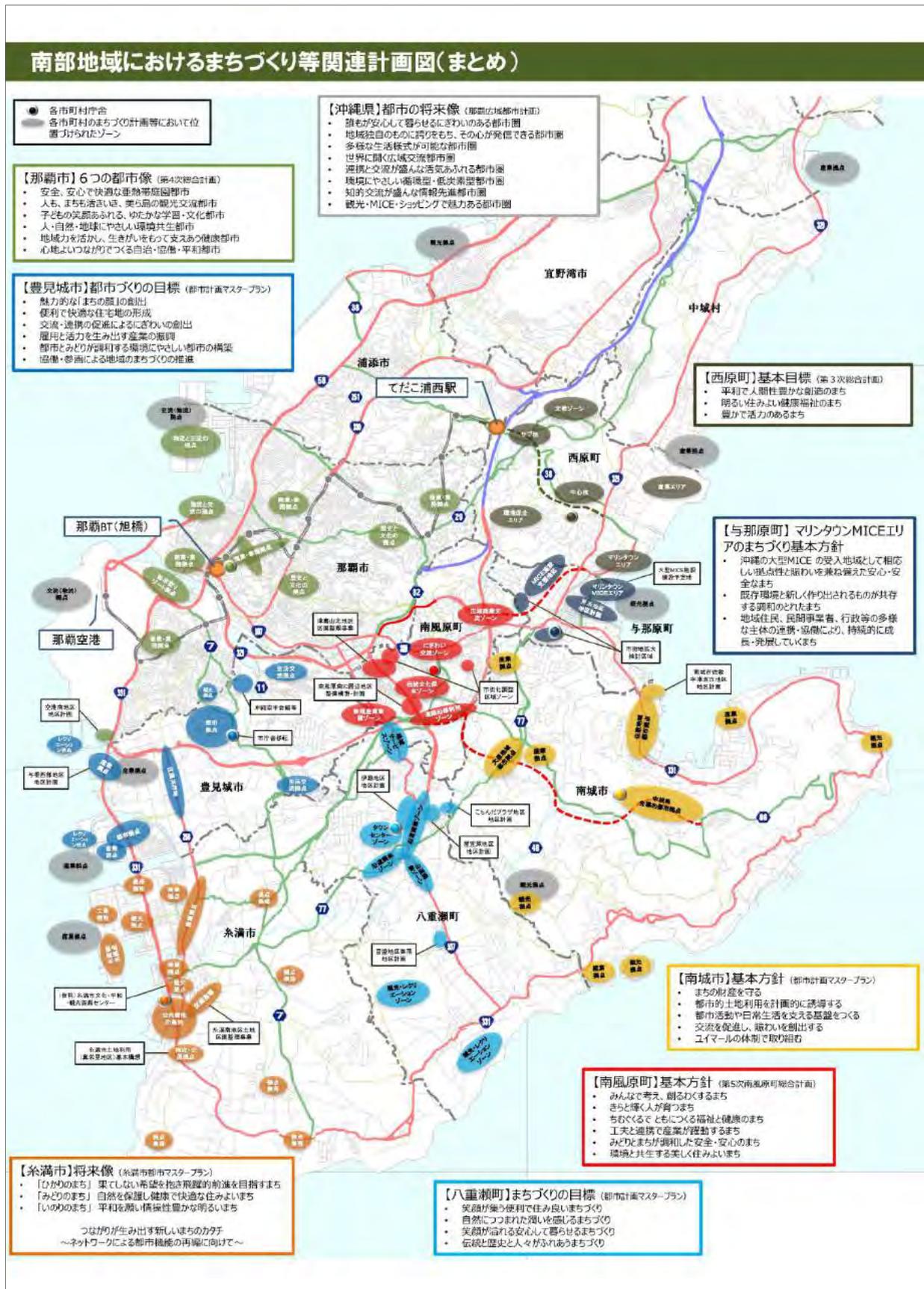
2-2 公共交通等関連計画図（まとめ）

基礎調査の結果を踏まえ、各自治体の関連計画資料を収集・整理のうえ同一図面上にまとめた。



2-3 まちづくり等関連計画図（まとめ）

基礎調査の結果を踏まえ、各自治体の関連計画資料を収集・整理のうえ同一図面上にまとめた。



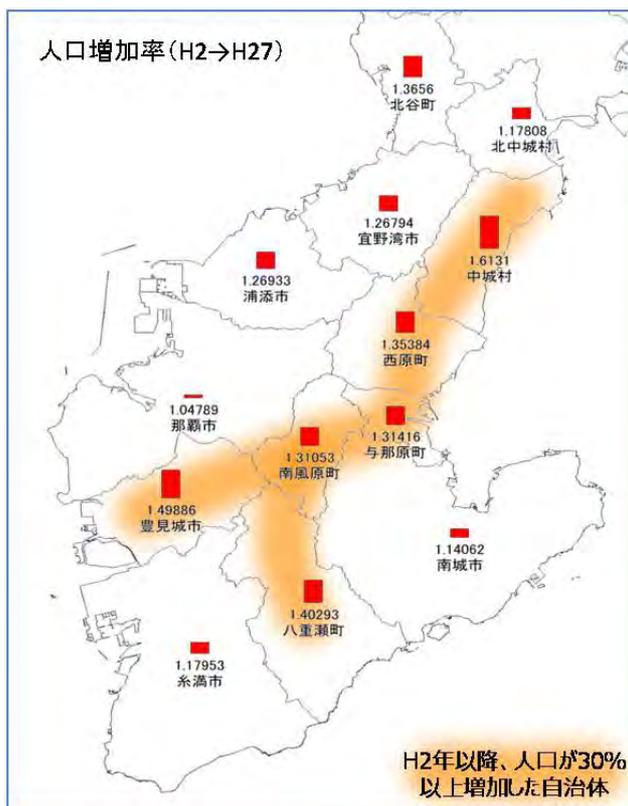
2-4 その他既往調査・参考資料（まとめ）

国勢調査等の既往調査結果を基に、南部地域の現況や特徴等について整理を行った。

①定住人口の推移（北谷町、北中城村以南）

地域	国勢調査人口						H2→H27	
	H2	H7	H12	H17	H22	H27	増加数	増加率
沖縄県全体	1,222,398	1,273,440	1,318,220	1,361,594	1,392,818	1,433,566	211,168	1.17275
北谷町	20,730	23,737	25,554	26,848	27,264	28,308	7,578	1.36556
北中城村	13,707	15,023	15,745	15,790	15,951	16,148	2,441	1.17808
宜野湾市	75,905	82,862	86,744	89,769	91,928	96,243	20,338	1.26794
中城村	12,060	13,832	14,987	15,798	17,680	19,454	7,394	1.61310
浦添市	89,994	96,002	102,734	106,049	110,351	114,232	24,238	1.26933
西原町	25,489	28,516	32,777	33,733	34,766	34,508	9,019	1.35384
那覇市	304,836	301,890	301,032	312,393	315,954	319,435	14,599	1.04789
豊見城市	40,777	45,253	50,198	52,516	57,261	61,119	20,342	1.49886
南風原町	28,616	30,249	32,099	33,537	35,244	37,502	8,886	1.31053
与那原町	14,009	14,850	15,109	15,343	16,318	18,410	4,401	1.31416
糸満市	49,636	53,496	54,974	55,816	57,320	58,547	8,911	1.17953
八重瀬町	20,718	23,033	24,626	25,121	26,681	29,066	8,348	1.40293
南城市	36,836	38,173	39,130	39,651	39,758	42,016	5,180	1.14062

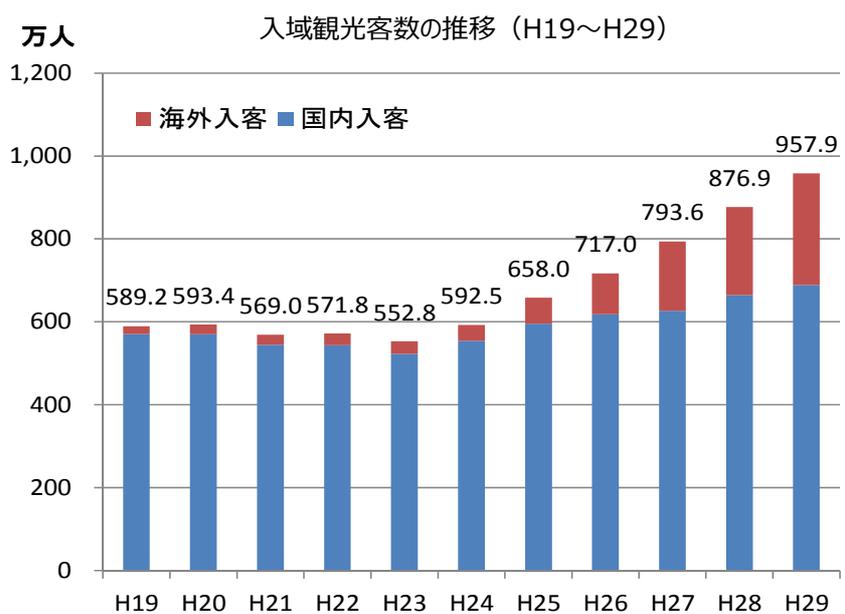
出典：総務省統計局



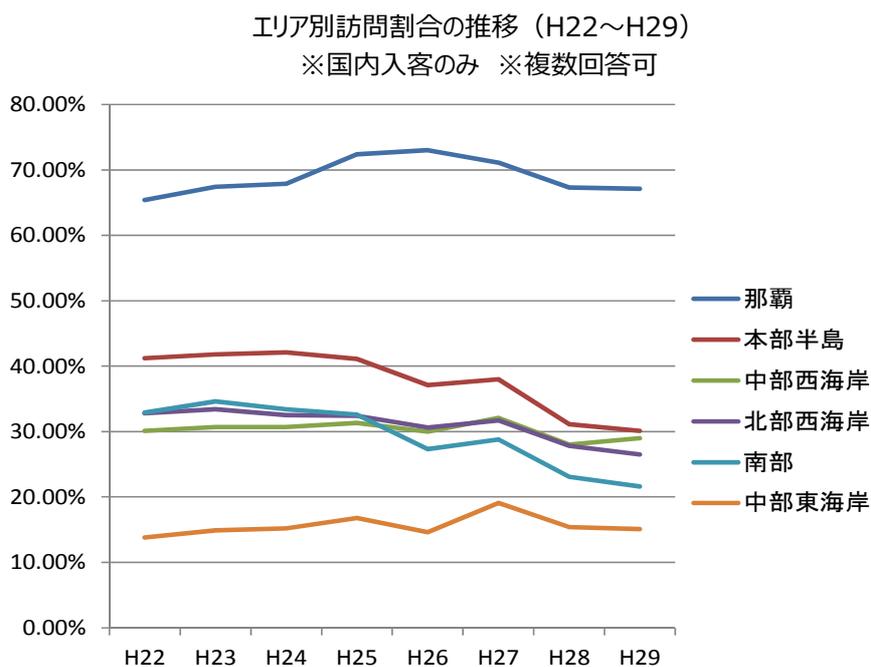
- 近年、人口は全地域で増加している
- 最も増加数が多かったのは浦添市であり次いで豊見城市、宜野湾市であった（表参照）
- 平成2年と比較した場合、中城村、西原町、与那原町、南風原町、八重瀬町、豊見城市で大きく増加傾向にある（図参照）

②入域観光客数の推移

- 県内の入域観光客数は近年増加傾向にあり、平成 29 年度には 957 万 9 千人となっている
- 平成 24 年以降は海外からの入客数増加が顕著
- エリア別訪問割合では、平成 22 年度に比べ「那覇市」と「中部東海岸」エリアのみが微増
- ただし、訪問割合は減少または横這いであっても、全体の入域観光客数が増加しているため、どのエリアも来訪者数は増加傾向にあると考えられる



出典：入域観光客統計（沖縄県）

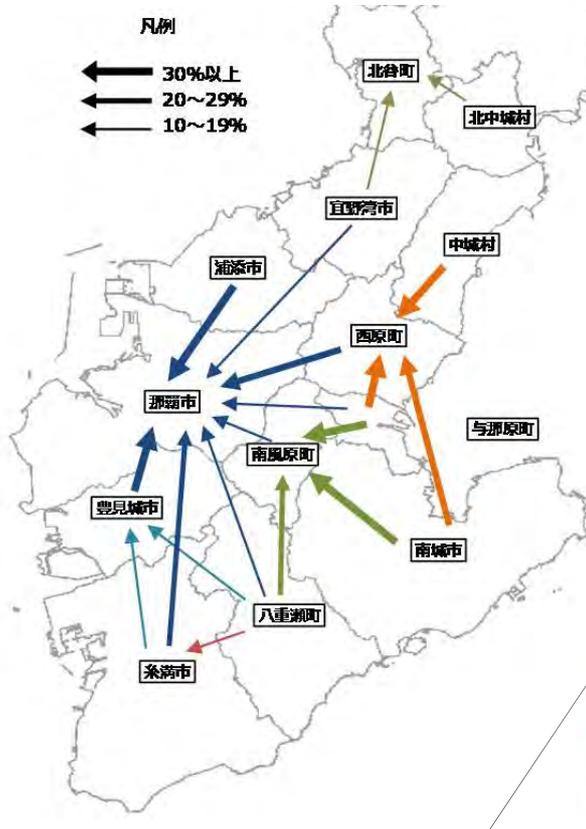


出典：観光統計実態調査（沖縄県）

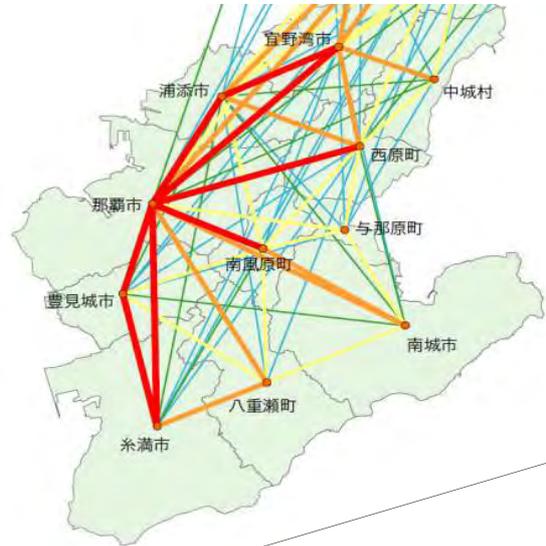
③交流人口の現況

- A) 買物流動では「那覇市」への集中がみられる
- A) 買物流動において「南風原町」は八重瀬町、南城市、与那原町、「西原町」は南城市、与那原町、中城村に対する商圈が確立されている
- B) 全目的・手段による市町村間トリップ（移動）を見ても、那覇市への移動ニーズは高い
- C) 那覇市への就業者、通学者人口は浦添市からが最も多く 14,516 人、次いで豊見城市が 10,027 人となっており 1 万人を超えている状況
- C) 糸満市や南風原町から那覇市への就業者・通学者人口は 5～6 千人規模であり、八重瀬町や与那原町とともに僅かではあるが増加傾向にある

A) 地域外への買物流動図（10%以上の流出）
出典：平成 26 年度買物動向調査（沖縄県）

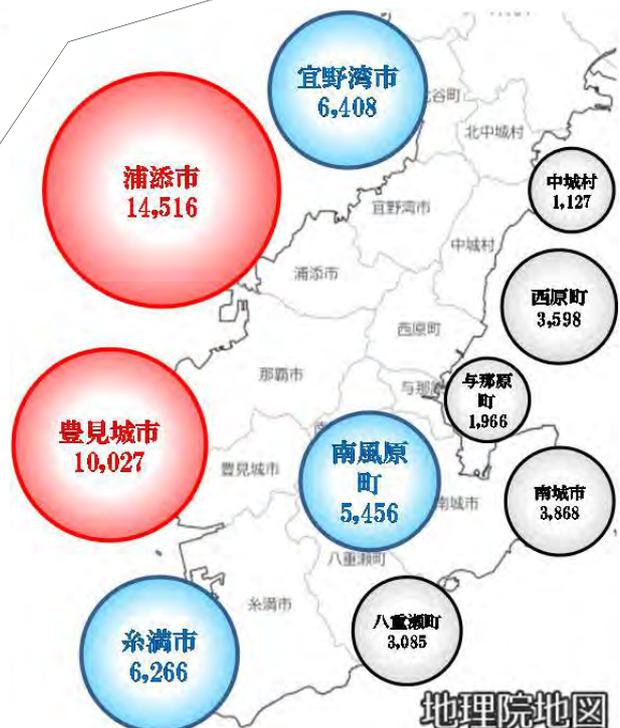


B) 全目的全手段市町村間トリップ数（都市圏内のみ）
出典：第 3 回中南部都市圏 PT 調査報告書（沖縄県）



C) 那覇市への通勤・通学人口（平成 27 年）
出典：H 2 7 国勢調査（総務省統計局）

	那覇市へ通勤・通学者人口（15歳以上）		
	H27	H17	伸率 (H27/H17)
浦添市	14,516	15,361	0.94
豊見城市	10,027	10,919	0.92
宜野湾市	6,408	6,847	0.94
糸満市	6,266	6,142	1.02
南風原町	5,456	5,345	1.02
南城市	3,868	3,925	0.99
西原町	3,598	3,736	0.96
八重瀬町	3,085	3,042	1.01
与那原町	1,966	1,747	1.13
中城村	1,127	868	1.30



④道路・交通の現況

- A) 県内の自動車保有台数は年々増加を続け、復帰直後の昭和49年度（約25万台）に比べ、平成28年度末には約4.5倍（約111万台）となっている
- B) また、一世帯当たりの保有台数では平均約1.64台となっている



(注)：各年度末の数値である。
資料：沖縄総合事務局陸運事務所「業務概況(平成29年度版)」

B) 自動車三輪以上の保有率
出典：2018年 沖縄県の道路（沖縄県土木建築部）

項目		S47年度末	H23年度末	伸び率
沖縄	自動車保有台数 (千台)	198	1,050	5.30
	人口 (千人)	981	1,467	1.50
	世帯数 (千世帯)	237	639	2.70
	人口一人当たりの保有率 (台/人)	0.20	0.72	3.55
	一世帯当たりの保有率 (台/世帯)	0.84	1.64	1.97
全国	自動車保有台数 (千台)	21,547	77,491	3.60
	人口 (千人)	107,332	127,907	1.19
	世帯数 (千世帯)	29,577	57,477	1.94
	人口一人当たりの保有率 (台/人)	0.20	0.61	3.02
	一世帯当たりの保有率 (台/世帯)	0.73	1.35	1.85

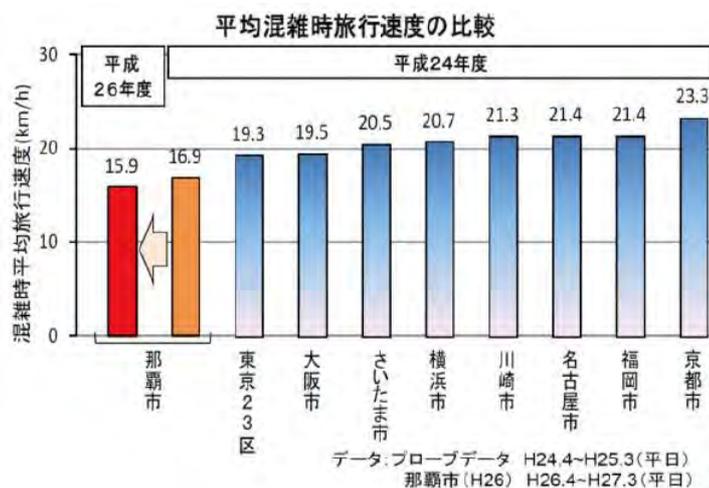
資料：1. (人口、世帯数)は、総務省自治行政局「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(平成29年1月1日現在)」による。
2. (自動車保有台数)は、社団法人 日本自動車工業会「自動車統計月報(2017年6月号)」による。

- C) 自動車保有台数の伸び率は道路改良の伸び率を大きく上回っている
- D) その結果、那覇市内における道路混雑時の旅行速度は、東京 23 区などの三大都市圏と同等の低い水準となっている

C) 道路改良と自動車保有台数の伸び率比較
出典：2018 年 沖縄県の道路（沖縄県土木建築部）



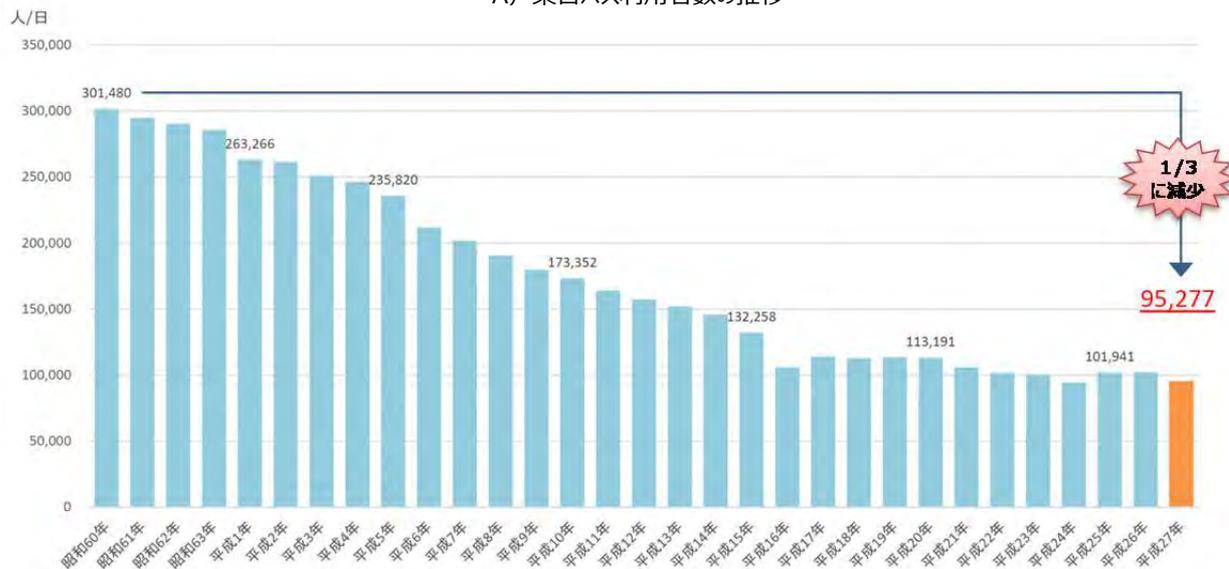
D) 平日混雑時旅行速度の比較
出典：2018 年 沖縄県の道路（沖縄県土木建築部）



⑤公共交通の現況

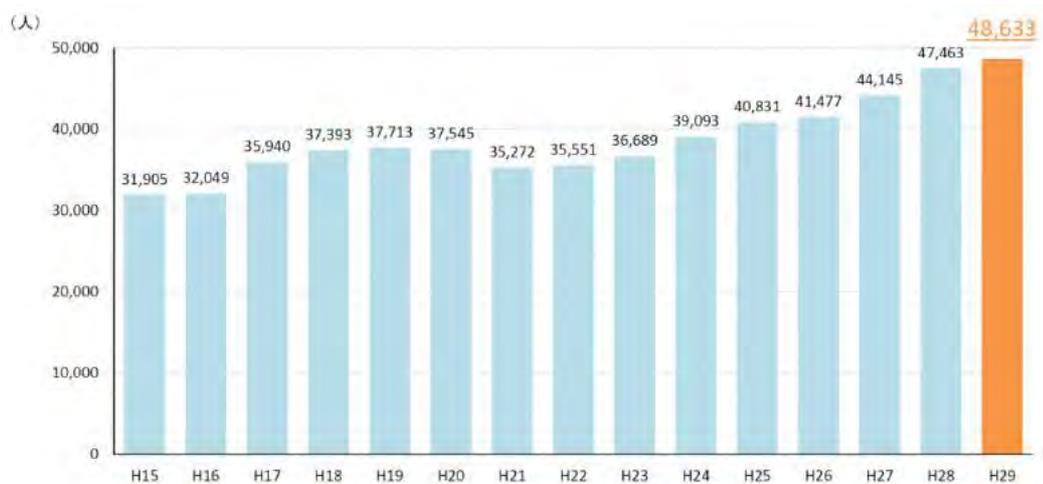
- A) 乗合バスの輸送人員は、平成 16 年頃まで一定の割合で減少を続けていたものの、近年は横ばいの傾向となり、昭和 60 年と比較して、平成 27 年には約 1/3 まで減少している
- B) 沖縄都市モノレールは、観光客の増加に伴い利用者も増加傾向にある。日あたりの乗客数は平成 29 年 4 月末日時点で約 4.9 万人となり、乗合バス利用者の約半分に至っている

A) 乗合バス利用者数の推移



資料：沖縄総合事務局運輸要覧（S60～H28. 12）

B) 沖縄都市モノレール利用者数の推移



資料：沖縄県都市モノレール課HP
駅別乗客数 年度比較表（1日当たり平均）H29.4月末日現在より合計値を抜粋

- 平成29年度には本島内で補助対象となっている路線バス全20系統のうち、那覇市以南を運行する路線は9系統と45%を占めており、一部では既に廃止・減便・代替などの再編計画が進められている

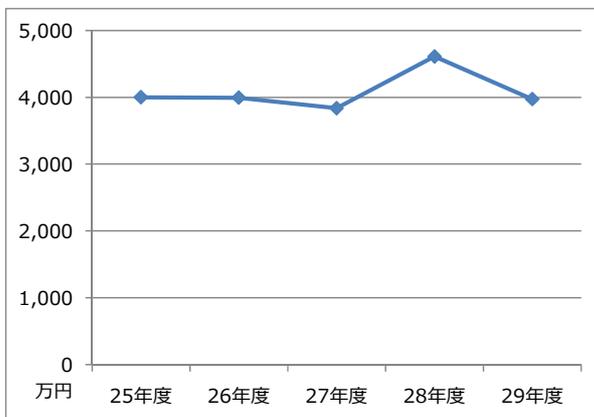
平成29年度 沖縄県地域公共交通（陸上交通）確保維持改善事業費補助金 対象路線

	系統	運行系統名	運行事業者	関係市町村・対応状況など
1	82	玉泉洞糸満線	琉球バス	糸満市、南城市、八重瀬町
2	105	豊見城市内一周線		豊見城市
3	53	志喜屋線		南城市、南風原町、八重瀬町
4	77	名護東線	沖縄バス	那覇市、浦添市、宜野湾市、北中城村、沖縄市、うるま市、金武町、宜野座村、名護市
5	52	与勝線		那覇市、浦添市、宜野湾市、北中城村、沖縄市、うるま市
6	65	本部半島（渡久地）線	琉球・沖縄バス 共同運行	名護市、本部町、今帰仁村
7	66	本部半島（今帰仁）線		名護市、本部町、今帰仁村
8	67	辺土名線		名護市、大宜味村、国頭村

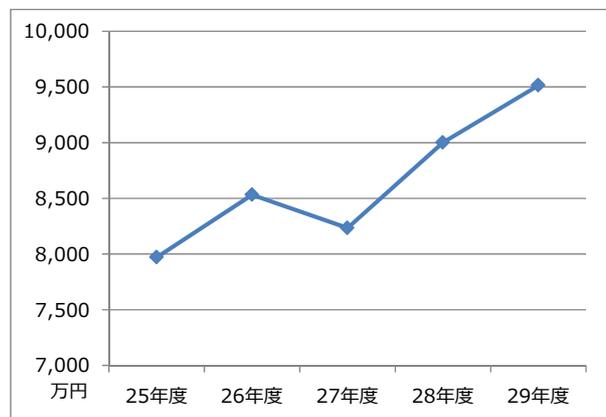
平成29年度 沖縄県生活バス路線確保対策補助金 対象路線

	系統	運行系統名	運行事業者	関係市町村・対応状況など
1	85	国吉線（大里廻り）	琉球バス	(H30.10 廃止) 糸満市：デマンドバス+代替バス運行
2	86	国吉線（真栄里廻り）		(H30.10 廃止) 糸満市：デマンドバス+代替バス運行
3	107	南部循環線（真壁）		(H30.10 減便) 糸満市
4	108	南部循環線（喜屋武）		(H30.10 減便) 糸満市
5	51	百名（船越経由）線	沖縄バス	那覇市、南風原町、八重瀬町、南城市
6	36	糸満新里線		糸満市、八重瀬町、南城市、与那原町
7	48	石川読谷線	琉球バス	読谷村、恩納村、うるま市
8	70	備瀬線	沖縄バス	名護市、本部町
9	72	屋我地線	琉球・沖縄バス 共同運行	名護市
10	73	川田線	平安座総合開発	(H30.10 廃止) 名護市、大宜味村、東村 東村：コミュニティバス実験（2系統） 大宜味村：代替バス運行
11	76	瀬底線		名護市、本部町
12	-	伊計・屋慶名線		うるま市

平成29年度 沖縄県地域公共交通（陸上交通）確保維持改善事業費補助金の推移（離島含む、県負担のみ）



平成29年度 沖縄県生活バス路線確保対策補助金の推移（離島含む、県負担のみ）

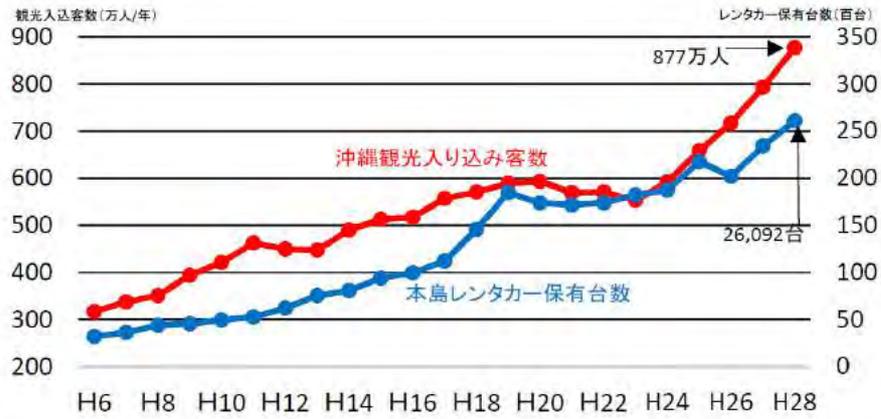


資料：沖縄県 HP 陸上交通（バス路線の確保・維持）

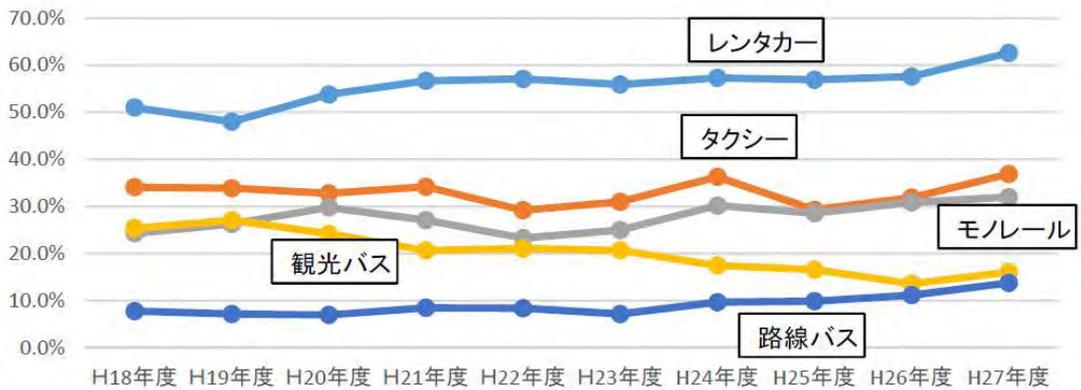
⑥観光交通の現況

- 近年増加している観光客の約 6 割がレンタカーで移動しており、それに伴ってレンタカーの保有台数も増加傾向にある
- また、観光客における路線バス及びモノレールなどの公共交通の利用割合、もわずかではあるが増加傾向にある

観光入込客数とレンタカー保有台数の推移



沖縄県滞在中に利用した交通手段の推移



出典：沖縄次世代都市交通システム検討会（内閣府沖縄総合事務局）
アドバイザー会合 会議資料

3. 専門委員会の開催支援

基礎調査結果をとりまとめるにあたり、整理された現況や課題等を踏まえた「南部広域として連携して検討すべき公共交通軸」「今後の南部広域公共交通連携体制」などについて素案資料を作成し、下記に示す専門委員会にて検討を行った。

島尻地域振興開発推進協議会専門委員名簿

市町・担当課名	役職	氏名	備考
糸満市政策推進課	課長	上原 和隆	委員長
豊見城市都市計画課	参事	具志堅 清一	副委員長
南城市企画室	室長	外間 孝明	
八重瀬町企画財政課	課長	神谷 学	
与那原町企画政策課	課長	石川 毅	
南風原町総務課	課長	儀間 博嗣	

オブザーバー出席者名簿

市町・担当課名	役職	氏名	備考
沖縄県企画部交通政策課公共交通推進室	室長	宮城 優	
那覇市都市みらい部都市計画課	課長	島袋 正吾	
西原町総務部企画財政課	課長	島袋 友一	

3-1 第1回専門委員会

開催日時	平成30年10月30日(火) 14時00分
開催場所	自治会館 3階 特別会議室
議 事	(1) 南部地域の新たな公共交通基本計画について
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ① 「島尻地域振興開発推進協議会専門委員会について」 ② 「島尻地域振興開発推進協議会専門委員会名簿」 ③ 「南部地域の新たな公共交通基本計画について」 ※3P 参照 ④ 「南部地域の新たな公共交通基本計画基礎調査とりまとめイメージ」 ※4P 参照 ⑤ 「南部地域における公共交通関連基礎調査票」 ※6P 参照
指摘事項 確認事項	<ul style="list-style-type: none"> ① 那覇市、西原町などは重要地域であるため、次回の専門委員会からオブザーバーとして参加頂く ② 来年度以降の予算(負担金)のあり方や、協議会等の体制、メンバー構成等について検討する必要がある ③ 将来的に網形成計画等の上位計画へ進むことを見据えつつ、当初はそのための基礎的計画の作成を目指す ④ 資料⑤ 「南部地域における公共交通関連基礎調査票」を記入し事務局へ提出する

資料④ 連携して検討すべき公共交通軸について（素案） 続き

第1回委員会の意見を踏まえ、次年度以降の検討体制（素案）を作成。

連携して検討すべき公共交通軸について(素案)

①広域連携に適した協議組織の比較

協議形態	なし	道路運送法	活性化再生法
協議組織	任意会議 ※協議内容に応じて決定	地域公共交通会議	法定協議会
目的	広域連携での地域公共交通のあり方	生活交通のあり方を審議、地域の交通計画を策定（任意）	地域公共交通網形成計画の策定、計画実施の主体となる
対象モード	公共交通網健全化	バス、タクシー等	鉄道路、バス、タクシー、旅客船等
参加メンバー	2つ以上の地方公共団体 ※その他は、協議内容に応じて	市町村、都道府県、運輸局、交通事業者、交通事業者の運転者組織、住民利用者代表、道路管理者、交通管理者、主催者が必要と判断する者	市町村、都道府県、運輸局、交通事業者、住民利用者代表、道路管理者、交通管理者、主催者が必要と判断する者
決定事項の効力	なし	コミュニティバス、乗合タクシーの許可等に關する特例の適用	網形成計画の策定、同計画実施への許可手続きの簡素化、地方債取償等の特例措置
協議義務	なし	法的義務なし	広域義務あり（一部）
協議結果	なし	法律上規定なし	協議会参加者の尊重義務あり
事業実施	不可	不可	可
備考		「地域公共交通会議の設置及び運営に關するガイドライン（平成18年9月15日付国土省第161号）」では、地域公共交通会議は、又は車載の市町村、又は都道府県が生ずることに加え、都道府県単位で地域公共交通会議を設置する場合は、都道府県区域を交通圏、経済圏等を勘案したブロックに分割し、それぞれのブロックごとの分科会形式などにより開催することが望ましいとされている。	地域公共交通会議と異なり、法定協議会への参加は義務、参加者に対する協議結果の尊重義務、パブリックコメントの実施の義務付けなどの規定が設けられている。なお、地域公共交通網形成計画を作成できるのは地方自治法における普通公共団体とされているが、特別地方公共団体（一部事務組合や広域連合）は網形成計画に係る協議を行う協議会の事務局として位置づけることが可能。

②平成31年度以降の検討体制について（素案）

(仮称) 南部地域公共交通会議

参加者：懇談公共交通会議に準ずる
事務局：一部事務組合等
目的：南部広域計画の策定
役割：各分科会の検討結果を評価・審議、とりまとめ

○分科会（任意会議）

参加者：市町村等
事務局：代表市町村
目的：個別結節点・公共交通軸の検討・整理

・まちづくり計画との連携
・ルート/システム
・効果/採算性検証 など

○分科会（任意会議）

参加者：市町村等
事務局：代表市町村
目的：個別結節点・公共交通軸の検討・整理

・まちづくり計画との連携
・ルート/システム
・効果/採算性検証 など

③平成31年度以降のスケジュール（素案）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
局域地域広域調連携推進協議会専門委員会									
検討軸、検討体制や内容の協議・調整									
(仮称) 南部地域公共交通会議									
会議発足、事務局等の調整・準備									
公共交通会議・分科会の発足									

(参考) 各公共交通システムの特徴

公共交通システム	路線バス	BRT (Bus Rapid Transit)	ART (Advanced Rapid Transit)	LRT (Light rail transit) (軽軌道)	モノレール	鉄道
<p>主な特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ①一般道路に混入 ②自動車交通と混在する混雑型システム ③定時定刻運行が中心 ④乗客が乗降のみが可能(乗降、改札が必要) ⑤従来車種の導入により、路面以外の平面移動と車庫(まちに溶け込む交通手段) ⑥少量の車両で運行可能 ⑦歩行者との混在が課題 <p><新車種等></p> <ul style="list-style-type: none"> ⑧6m以下(一部車、道路にのみ適合) ⑨転送力>>1,000人/時 ⑩運行費>>2,000円/人 ⑪運行費>>2,000円/人 ⑫運行費>>2,000円/人 ⑬運行費>>2,000円/人 	 <p>①一般道路に混入</p> <p>②自動車交通と混在する混雑型システム</p> <p>③定時定刻運行が中心 <p>④乗客が乗降のみが可能(乗降、改札が必要) <p>⑤従来車種の導入により、路面以外の平面移動と車庫(まちに溶け込む交通手段) <p>⑥少量の車両で運行可能 <p>⑦歩行者との混在が課題 </p></p></p></p></p>	 <p>①一般道路に混入</p> <p>②自動車交通と混在する混雑型システム</p> <p>③定時定刻運行が中心 <p>④乗客が乗降のみが可能(乗降、改札が必要) <p>⑤従来車種の導入により、路面以外の平面移動と車庫(まちに溶け込む交通手段) <p>⑥少量の車両で運行可能 <p>⑦歩行者との混在が課題 </p></p></p></p></p>	 <p>①一般道路に混入</p> <p>②自動車交通と混在する混雑型システム</p> <p>③定時定刻運行が中心 <p>④乗客が乗降のみが可能(乗降、改札が必要) <p>⑤従来車種の導入により、路面以外の平面移動と車庫(まちに溶け込む交通手段) <p>⑥少量の車両で運行可能 <p>⑦歩行者との混在が課題 </p></p></p></p></p>	 <p>①一般道路に混入</p> <p>②自動車交通と混在する混雑型システム</p> <p>③定時定刻運行が中心 <p>④乗客が乗降のみが可能(乗降、改札が必要) <p>⑤従来車種の導入により、路面以外の平面移動と車庫(まちに溶け込む交通手段) <p>⑥少量の車両で運行可能 <p>⑦歩行者との混在が課題 </p></p></p></p></p>	 <p>①一般道路に混入</p> <p>②自動車交通と混在する混雑型システム</p> <p>③定時定刻運行が中心 <p>④乗客が乗降のみが可能(乗降、改札が必要) <p>⑤従来車種の導入により、路面以外の平面移動と車庫(まちに溶け込む交通手段) <p>⑥少量の車両で運行可能 <p>⑦歩行者との混在が課題 </p></p></p></p></p>	 <p>①一般道路に混入</p> <p>②自動車交通と混在する混雑型システム</p> <p>③定時定刻運行が中心 <p>④乗客が乗降のみが可能(乗降、改札が必要) <p>⑤従来車種の導入により、路面以外の平面移動と車庫(まちに溶け込む交通手段) <p>⑥少量の車両で運行可能 <p>⑦歩行者との混在が課題 </p></p></p></p></p>
<p>導入課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自動車交通との混在が課題 ②歩行者との混在が課題 ③歩行者との混在が課題 ④歩行者との混在が課題 ⑤歩行者との混在が課題 ⑥歩行者との混在が課題 ⑦歩行者との混在が課題 ⑧歩行者との混在が課題 ⑨歩行者との混在が課題 ⑩歩行者との混在が課題 ⑪歩行者との混在が課題 ⑫歩行者との混在が課題 ⑬歩行者との混在が課題 ⑭歩行者との混在が課題 ⑮歩行者との混在が課題 ⑯歩行者との混在が課題 ⑰歩行者との混在が課題 ⑱歩行者との混在が課題 ⑲歩行者との混在が課題 ⑳歩行者との混在が課題 	<p>①自動車交通との混在が課題</p> <p>②歩行者との混在が課題</p> <p>③歩行者との混在が課題</p> <p>④歩行者との混在が課題</p> <p>⑤歩行者との混在が課題</p> <p>⑥歩行者との混在が課題</p> <p>⑦歩行者との混在が課題</p> <p>⑧歩行者との混在が課題</p> <p>⑨歩行者との混在が課題</p> <p>⑩歩行者との混在が課題</p> <p>⑪歩行者との混在が課題</p> <p>⑫歩行者との混在が課題</p> <p>⑬歩行者との混在が課題</p> <p>⑭歩行者との混在が課題</p> <p>⑮歩行者との混在が課題</p> <p>⑯歩行者との混在が課題</p> <p>⑰歩行者との混在が課題</p> <p>⑱歩行者との混在が課題</p> <p>⑲歩行者との混在が課題</p> <p>⑳歩行者との混在が課題</p>	<p>①自動車交通との混在が課題</p> <p>②歩行者との混在が課題</p> <p>③歩行者との混在が課題</p> <p>④歩行者との混在が課題</p> <p>⑤歩行者との混在が課題</p> <p>⑥歩行者との混在が課題</p> <p>⑦歩行者との混在が課題</p> <p>⑧歩行者との混在が課題</p> <p>⑨歩行者との混在が課題</p> <p>⑩歩行者との混在が課題</p> <p>⑪歩行者との混在が課題</p> <p>⑫歩行者との混在が課題</p> <p>⑬歩行者との混在が課題</p> <p>⑭歩行者との混在が課題</p> <p>⑮歩行者との混在が課題</p> <p>⑯歩行者との混在が課題</p> <p>⑰歩行者との混在が課題</p> <p>⑱歩行者との混在が課題</p> <p>⑲歩行者との混在が課題</p> <p>⑳歩行者との混在が課題</p>	<p>①自動車交通との混在が課題</p> <p>②歩行者との混在が課題</p> <p>③歩行者との混在が課題</p> <p>④歩行者との混在が課題</p> <p>⑤歩行者との混在が課題</p> <p>⑥歩行者との混在が課題</p> <p>⑦歩行者との混在が課題</p> <p>⑧歩行者との混在が課題</p> <p>⑨歩行者との混在が課題</p> <p>⑩歩行者との混在が課題</p> <p>⑪歩行者との混在が課題</p> <p>⑫歩行者との混在が課題</p> <p>⑬歩行者との混在が課題</p> <p>⑭歩行者との混在が課題</p> <p>⑮歩行者との混在が課題</p> <p>⑯歩行者との混在が課題</p> <p>⑰歩行者との混在が課題</p> <p>⑱歩行者との混在が課題</p> <p>⑲歩行者との混在が課題</p> <p>⑳歩行者との混在が課題</p>	<p>①自動車交通との混在が課題</p> <p>②歩行者との混在が課題</p> <p>③歩行者との混在が課題</p> <p>④歩行者との混在が課題</p> <p>⑤歩行者との混在が課題</p> <p>⑥歩行者との混在が課題</p> <p>⑦歩行者との混在が課題</p> <p>⑧歩行者との混在が課題</p> <p>⑨歩行者との混在が課題</p> <p>⑩歩行者との混在が課題</p> <p>⑪歩行者との混在が課題</p> <p>⑫歩行者との混在が課題</p> <p>⑬歩行者との混在が課題</p> <p>⑭歩行者との混在が課題</p> <p>⑮歩行者との混在が課題</p> <p>⑯歩行者との混在が課題</p> <p>⑰歩行者との混在が課題</p> <p>⑱歩行者との混在が課題</p> <p>⑲歩行者との混在が課題</p> <p>⑳歩行者との混在が課題</p>	<p>①自動車交通との混在が課題</p> <p>②歩行者との混在が課題</p> <p>③歩行者との混在が課題</p> <p>④歩行者との混在が課題</p> <p>⑤歩行者との混在が課題</p> <p>⑥歩行者との混在が課題</p> <p>⑦歩行者との混在が課題</p> <p>⑧歩行者との混在が課題</p> <p>⑨歩行者との混在が課題</p> <p>⑩歩行者との混在が課題</p> <p>⑪歩行者との混在が課題</p> <p>⑫歩行者との混在が課題</p> <p>⑬歩行者との混在が課題</p> <p>⑭歩行者との混在が課題</p> <p>⑮歩行者との混在が課題</p> <p>⑯歩行者との混在が課題</p> <p>⑰歩行者との混在が課題</p> <p>⑱歩行者との混在が課題</p> <p>⑲歩行者との混在が課題</p> <p>⑳歩行者との混在が課題</p>	

参考資料：河津県

3-3 第3回専門委員会

開催日時	平成31年3月20日(水) 13時30分
開催場所	自治会館 3階 特別会議室
議 事	(1) 連携して検討すべき公共交通軸(修正案)について (2) 今後の南部広域公共交通連携体制(案)について
配布資料	① 連携して検討すべき公共交通軸について(修正案) ※下記参照 ② 今後の南部広域公共交通連携体制(案)について ※下記参照 参考資料 南部地域における公共交通の充実に向けた取組について(沖縄県) 参考資料 市町村アンケート調査の結果概要(沖縄県) 参考資料 豊見城市の望ましい公共交通について(豊見城市)
指摘事項 確認事項	① 次年度以降も市町村間の情報共有や基礎的な意見交換が必要 ② 今後も当面の間は本専門委員会を継続する形で議論を続ける ③ 専門委員会または連携会議へ学識者を加える方向で検討を行う

資料② 今後の南部広域公共交通連携体制（案）について

第2回委員会の意見等を踏まえ、将来的に公益性や実効性の面で様々なメリットが考えられる一部事務組合を事務局とした「南部地域公共交通連携会議（任意会議）」を中心とした検討体制（案）を作成。

今後の南部広域公共交通連携体制(案)について

①公共交通軸(案)

【検討・整備に向けた基本的な考え方】

- 南部地域における広域公共交通連携の検討にあたっては、既存路線バスの再編など短期的な対策（導入含む）に加え、中・長期的な段階整備について周辺市町村、関係機関と協議・調整を行っていくことが重要と考えられる
- また、路線バス、基幹バス、LRT、モーターバスなど、特徴の異なる複数の交通システムに対し、沿線市町村や関係機関など地域全体で導入目的や導入効果などについて議論するとともに、目標を明確にしたうえで推進する事が望ましい
- さらに、長期的な展望については地域・社会・経済情勢など取り巻く環境の変化を踏まえつつ、沿線の都市開発を含めた公共交通指向型（都市）開発の視点から、適宜判断して行く必要があると考えられる

②段階的整備検討のフロー図(案)

③連携・検討主体(修正案)

検討グループ	対象	連携・検討主体 (○は現時点でオブザーバ参加)									
		米沢市	豊見城市	米城市	南魚沼市	与那原町	八重瀬町	津波市	浦添市	西原町	沖積町
A 那覇～糸置軸 支援グループ	A										
	1	○	○								
	2										
B 那覇～糸置軸 支援グループ	B										
	3			○	○	○	○	○	○	○	○
	4										
	5										

今後の南部広域公共交通連携体制(案)について

①広域連携に適した協議組織の比較

協議体制	なし	協議協議会	高付化推進協議会
協議組織	任意協議 ※協議内容に応じて決定	地域公共交通協議会	決定協議会
目的	広域連携の地域公共交通のあり方	生活交通のあり方を審議・地域の交通計画を策定（任意）	地域公共交通のあり方を審議・計画実施の主体となる
対象	公共交通施設全般	バス、タクシー等	鉄道路、バス、タクシー、旅客船等
参加メンバー	2つ以上の地方公共団体 ※その他は、協議内容に応じて	市町村、郡道庁、運輸所、交通事業者、住民利用客代表、運営管理者、交通管理官、主催者が必要と判断する者	市町村、郡道庁、運輸所、交通事業者、住民利用客代表、運営管理官、交通管理官、主催者が必要と判断する者
議事事項の裁量	なし	コミュニティバス、集合タクシーの許可等に関する特別の適用	関係計画の策定、共同計画策定の可否に関する特別の適用、地方公共団体の連携促進
協議結果	なし	協議結果あり	協議結果あり（一部）
協議実施	不可	可能	可
備考		「地域公共交通協議会」の設置及び協議内容に関するガイドライン（平成18年9月15日付国発第161号）では、地域公共交通協議会は、一又は複数の市町村、又は郡道庁等が主体となることに加え、郡道庁等が地域公共交通協議会を協議する場合には、郡道庁等の区域を交通圏、経済圏等を勘案したブロックに分割し、それぞれブロックごとの分割を形成することによって協議することが望ましいとされている。	地域公共交通協議会と異なり、法定協議会への参加が義務づけられ、参加者に対する協議結果の報告義務、パブリックコメントの実施義務などの規定が設けられている。また、地域公共交通協議会が計画を策定できるのは、地方自治法に定める高付化共同団体の一部（一部事務組合や広域連合）は、関係計画に定める協議事項のうち、協議内容に基づいて位置づけることができる。

③平成31年度以降の検討体制について（修正案）

- 農山地域振興開発推進協議会専門委員会として、下記に示す連携会議の設置を南部市町村間事務組合へ提案
- 平成31年度当初は現在の専門委員会として検討を続けつつ、調整が整った下記体制へ移行

南部地域公共交通連携会議（任意会議）

【構成市町村】 那覇市、津波市、米城市、南魚沼市、豊見城市、米沢市、西原町、八重瀬町
【関係市町村】 西原町
【会議事務局】 南部広域市町村間事務組合
【設置目的】 南部地域における広域公共交通ネットワークの計画策定（将来ビジョンの策定、計画進捗の確保等）
上位関係調整等との調整や計画の反映
【主な役割】 各務協議会議の結果を審議・合意形成・とりまとめ
市町村間の協議促進等の共有、担当者ワークショップの開催など ※参考資料1、2参照

A 那覇～糸置軸支援検討会議（任意会議）

【参加者】 那覇市、豊見城市、米沢市、南魚沼市
【事務局】 代表市町村など（任意）
【主な検討項目】
- 基本方針（将来像、公共交通の役割等）
- まちづくり計画、観光振興計画等との連携調整
- 計画目標
- 具体的事業（ルート/システム）の実施主体
- 検討の熱意に反して、導入効果/採算性検証等
※参考資料3参照

B 那覇～糸置軸支援検討会議（任意会議）

【参加者】 津波市、浦添市、米城市、西原町、南魚沼市
【事務局】 代表市町村など（任意）
【主な検討項目】
- 基本方針（将来像、公共交通の役割等）
- まちづくり計画、観光振興計画等との連携調整
- 計画目標
- 具体的事業（ルート/システム）の実施主体
- 検討の熱意に反して、導入効果/採算性検証等

④平成31年度以降のスケジュール（イメージ）

	19年度 (H31)	20年度 (H32)	21年度 (H33)	22年度～ (H34)
専門委員会開催 （農山地域振興開発推進協議会）				→ 協議 ← 反復
南部地域公共交通連携会議 （南部広域市町村間事務組合）	協議実施	広域公共交通ネットワーク計画策定	必要に応じて個別計画策定1次実行	
各務協議検討会議 （関係市町村・郡道庁）				
協議21年度ビジョン・基本計画、関係公共交通体基本計画、関係計画等（関係市町村・郡道庁）				
郡道庁の協議促進、まちづくり計画など（関係市町村）				

資料② 今後の南部広域公共交通連携体制（案）について

計画策定（調査事業等）に活用可能な補助金（新設）を整理。

(参考) 南部広域公共交通連携計画の策定に向けて活用可能な補助金について

沖縄振興特定事業推進費 (内閣府政策統括官(沖縄政策担当))
平成31年度予算概算決定額(新規) : 30.0億円
出典:「沖縄振興特定事業推進費に係る説明会」資料(平成31年1月20日 自治研研発所)

趣旨・目的

- 沖縄振興特別推進交付金(ソフト交付金)は、県及び市町村が事業を計画的・継続的に実施するための財源として、客観基準に基づき、毎年度県及び市町村に安定的に配分されるものであるため、多様な地域課題・政策課題への迅速・柔軟な対応が困難なケースもあり得る。
- 「沖縄振興特定事業推進費」は、このようなケースに備え、事業を機動的に推進するための財源として、ソフト交付金を補充し、主に、臨機応変な財源捻出が困難な市町村に配分される。

事業概要

○補助の根拠: 予算補助

○補助対象事業: ソフト交付金の対象事業(沖縄の振興に資する事業及び沖縄の特殊事情に起因する事業)のうち、以下の要件を満たすもの

①機動性要件
(多様な地域課題・政策課題に対応するため迅速・柔軟に対応する必要がある事業等)

先導性要件
(他の市町村にも広げていくことが望ましい事業)

②又は
広域性要件
(事業の効果が当該市町村にとどまらず広域に及ぶと見込まれる事業)

(注)従前の拠点返還地跡地利用推進交付金の対象事業から引き継がれる事業及び31年度に採択され次年度以降に引き継がれる事業については要件②を満たすもの。

○補助対象者: 市町村
市町村と密接に連携して取り組む民間事業者

○補助率: 8/10

資金の流れ

国 → 補助金 (補助率 8/10) → 各市町村※
※一部民間事業者も含む

平成31年度推進費補助金の交付決定までの流れ(案) 資料②

	市町村	民間事業者
交付要件	①補完性 ソフト交付金の対象経費か ②機動性 ソフト交付金の活用が困難か ③先導性 事業手法が先導的か 又は広域性 事業効果が広域的か	①補完性・機動性 公共性が高いと市町村が望めたか ②広域性 事業手法が先導的か 又は広域性 事業効果が広域的か
2月	市町村を対象とした制度説明会	
	第1回候補事業調査	
3月	①、②の確認	①の確認
4月	③の事前協議	②の事前協議
4月1日	交付決定 (市町村)	交付決定 (民間事業者)
5月	③の事前協議	②の事前協議
6月	交付決定 (民間事業者)	交付決定 (民間事業者)
7月		
	第2回候補事業調査	
8月	①、②の確認	①の確認
9月	③の事前協議	②の事前協議
10月	交付決定 (市町村)	交付決定 (民間事業者)

留意: 調査に回らなかった事業についても、随時補正を受け。

(参考) 南部広域公共交通連携計画の策定に向けて活用可能な補助金について

平成31年度推進費補助金(市町村)の採択基準(案) 資料②-①

ステップ① 補完性要件
(考え方) ソフト交付金を補充するものとの性質上、同交付金の対象外経費には充当しない

＜不採択経費の例＞
- 通常の経費(賃金・人件費、印刷費等の経費等)
- 当該経費の発生又は帰属がある経費等

ステップ② 機動性要件
(考え方) 計画的・継続的に事業を実施するための財源であるソフト交付金の活用が可能な事業には充当しない

＜不採択事業の例＞
- 交付金事業計画に補完要件がある事業
- 市町村事業
- 専断事業(市町村特約)
- 市町村事業特別時に申請受理がある事業

ステップ①-1 先導性要件
(考え方) 他の市町村に先導的な手法の模倣が期待できる事業に優先的に充当する

事業手法の先導性

＜採択事業の例＞
- 自立性(将来的に本補助金に頼らずに、事業として継続していくことが可能となる事業)
- 官民連携(事業実施主体のみの取組ではなく、民間と協働して行う事業)
- 取組開始(建設の完成や相互に隣接交付効果を発揮する事業)等

ステップ①-2 広域性要件
(考え方) 最広域への効果の波及が期待できる事業に優先的に充当する

事業効果の広域性

＜採択事業の例＞
- 事業効果が当該市町村を超えて波及する事業
(県道拡充、雇用創出、交流人口増等)

4. 基礎調査結果のとりまとめ

基礎調査結果および専門委員会における意見等を踏まえ、次年度以降に南部広域として連携して検討すべき公共交通軸や連携体制についてとりまとめを行った。

4-1 連携して取り組む目的

未だ議論が進んでいない本島南部地域の公共交通網のあり方について、各市町村が交通に関する課題や考え方について情報共有を行うことで

「南部地域」の望ましい公共交通網の姿を「南部地域」が一体となって策定

し、共通する将来ビジョンに基づいた整合性のある取り組みを進めていくことを目的とする。

検討にあたっては、地域の課題や目標等をきちんと踏まえ、既存路線バスの再編など短期的な対策（導入含む）をはじめとする、中・長期的な段階整備について周辺市町村、関係機関と協議・調整を進めていくことで実効性のある計画を目指す。

4-2 望ましい検討体制

- 島尻地域振興開発推進協議会専門委員会として、下記に示す連携会議の設置を南部市町村圏事務組合へ提案
- 平成31年度当初は現在の専門委員会として検討を続けつつ、調整が整いしだい下記体制へ移行することを想定

南部地域公共交通連携会議（任意会議）

【構成市町村】 那覇市、浦添市、糸満市、豊見城市、南城市、南風原町、与那原町、八重瀬町

【関係市町村】 西原町 【その他】 学識者（専門：交通・まちづくり）、沖縄県

【会議事務局】 南部広域市町村圏事務組合

【設置目的】 南部地域における広域公共交通ネットワークの計画策定（将来ビジョンの共有、計画整合性の確保等）
上位関連計画等との調整や計画の反映

【主な役割】 各軸支線検討会議の結果を審議・合意形成・とりまとめ
市町村間の交通関連情報の共有、担当者ワークショップの開催など

A 那覇～糸満軸支線検討会議（任意会議）

【参加者】 那覇市、豊見城市、糸満市、沖縄県

【事務局】 代表市町村など（任意）

【主な検討項目】

- ・基本方針（将来像、公共交通の役割など）
- ・まちづくり計画、観光振興計画等との連携整理
- ・計画目標
- ・具体的事業（ルート／システム）、実施主体
- ・検討の熟度に応じて、導入効果／採算性検証等

B 那覇～与那原軸支線検討会議（任意会議）

【参加者】 那覇市、浦添市、南城市、南風原町
八重瀬町、与那原町、西原町、沖縄県

【事務局】 代表市町村など（任意）

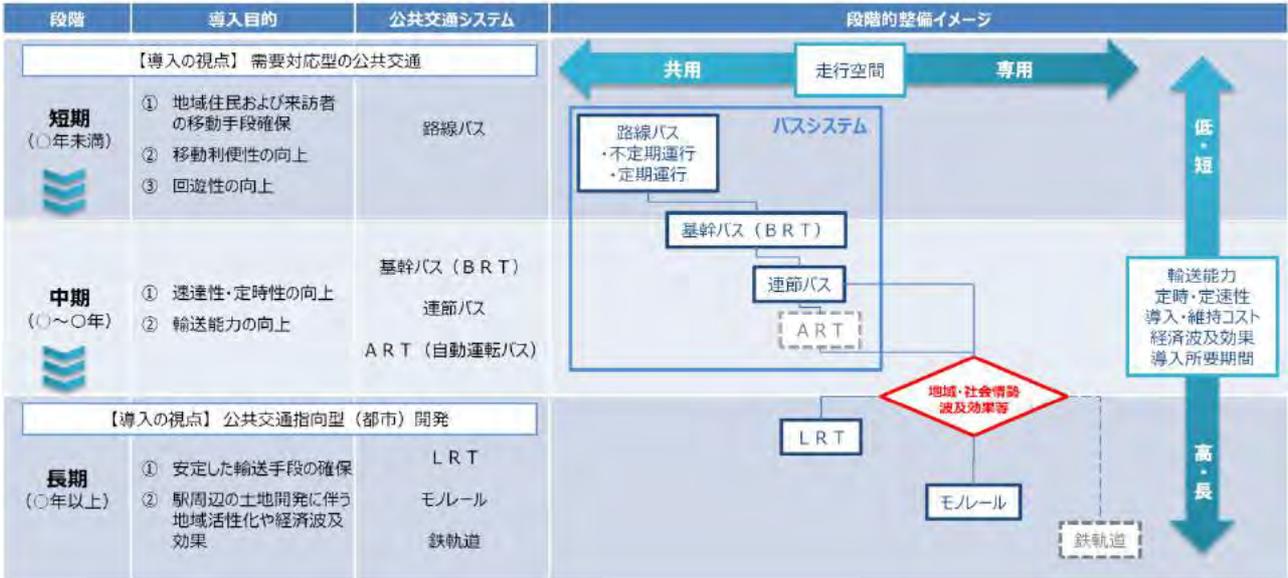
【主な検討項目】

- ・基本方針（将来像、公共交通の役割など）
- ・まちづくり計画、観光振興計画等との連携整理
- ・計画目標
- ・具体的事業（ルート／システム）、実施主体
- ・検討の熟度に応じて、導入効果／採算性検証等

4-4 段階的整備に向けた検討フロー

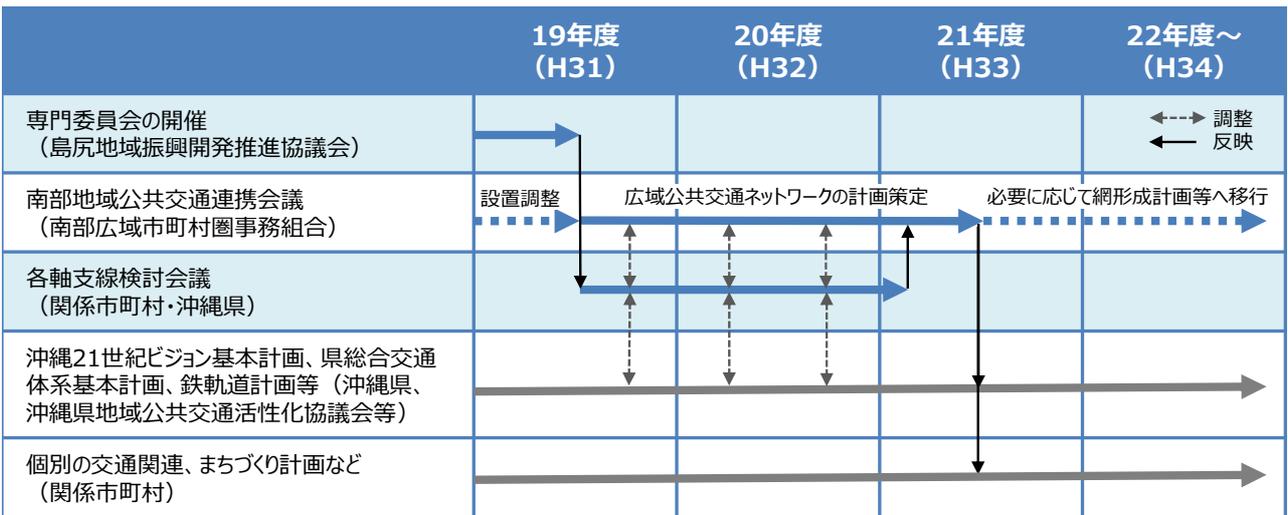
検討にあたっては、地域の課題や目標等をきちんと踏まえ、既存路線バスの再編など短期的な対策（導入含む）をはじめに、中・長期的な段階整備について周辺市町村、関係機関と協議・調整を進めていくことで実効性のある計画を目指す。

さらに、長期的な展開については地域・社会・経済情勢など取り巻く環境の変化を踏まえつつ、沿線の都市開発を含めた公共交通指向型（都市）開発など、様々な視点から適宜判断する



4-5 平成 31 年度以降の検討スケジュール (イメージ)

平成 31 年度当初は現在の島尻地域振興開発推進協議会専門委員会として検討を続けつつ、調整が整いしい「南部地域公共交通連携会議」を中心とした検討体制へ移行する。



平成 30 年度 南部地域の新たな公共交通基本計画基礎調査業務

平成 31 年 3 月

【受託者】

沖縄県浦添市勢理客四丁目 1 8 番 1 号

一般社団法人沖縄しまて協会 技術環境研究所

TEL : 098-879-2091、FAX : 098-874-5301